

# 事業所自己評価シート

令和5年度

## 職員による自己評価

## 保護者による評価

### A 環境面

児童室のレイアウトを変え、以前よりも広いスペースを確保することで、活動がしやすい環境を整えた。マットを利用する時に、ご利用の人数により狭くなってしまう事があった。

### B 業務改善

第三者委員の助言をもらう機会を設けて、助言をいただいた時は、業務改善に活かしている。職員同士のコミュニケーションを取り、業務の改善点等の確認を行っている。

### C 適切な支援の提供

毎月行う活動ミーティングの中で活動の立案、企画を行い、新しいプログラムを取り入れ実施した。また、毎月行うミーティングの中で利用者状況の確認を専門職も含め行った。

### D 関係機関との連携

担当者会議、学校の見学会、連絡会、自立支援協議会に参加し、利用者情報や関係機関との情報の共有を行った。

### E 保護者への説明

ご家族からの相談について、その都度応じて対応した。今年度より毎月「活動紹介」を作成し、よりご利用時を分かりやすく伝えた。

### F 非常時等の対応

9月に避難訓練を行い、緊急時の対応について確認を行った。虐待防止研修への参加し、職員間で内容の確認をした。

### A 環境面

概ね適切であるという評価をいただいた。

### B 適切な支援の提供

感染症対策が必要なので、交流する機会を設けるのは難しいという意見があった。コロナ禍も過ぎ、活動をより充実させるため、しっかりとした感染対策を整えることで、他事業所との交流については、実施していきたい。

### C 保護者への説明等

まだ感染症対策が必要なので行えないのは仕方がないという意見があった。コロナ禍で行えなかった懇談会を実施し、保護者との交流できる機会を作っていくたい。

### D 非常対応

概ね適切であると評価をいただいた。

### E 満足度

概ね適切であると評価をいただいた。

## 事業所内での分析

### 【共通点】

- ・環境面は、レイアウト変更など行ったこともあり、概ね高評価だった。
- ・保護者への説明については高評価だった。

### 【相違点】

- ・避難訓練を行っていることは概ね理解されていたが、台風、大雪等悪天候の際の営業について、保護者全体に伝えきれていなかった。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・多職種の職員が関わるので安心して活動ができる環境がある。
- ・周辺の環境を活かし、四季、行事に合わせた活動を実施できる。

事業所の改善点

- ・保護者との交流ができる懇談会の実施。
- ・緊急時等のマニュアルの保護者への周知。

事業所の改善への取り組み

- ・保護者の懇談会の実施。
- ・緊急時等マニュアルの保護者への再周知。

～自己評価を行ったの事業所としての感想など～

- ・今年度は活動プログラムを充実させていくことを目標とし、保護者からの評価を得られてよかった。
- ・関係機関との連携を取る中で、あらためて保護者との情報交換が大事だと感じた。コロナ禍で行えていなかった懇談会を実施していくことで保護者との情報交換と共に、活動時間の様子等を共有する機会にしていきたい。
- ・緊急時等マニュアルについては、保護者への再周知を行う中で、悪天候時の対応方法について職員で再確認を行い、速やかに対応できるようにする必要があると感じた。

事業所名 よこはまりバーサイド泉わかば

担当者 阿部明博